

令和4年度予算

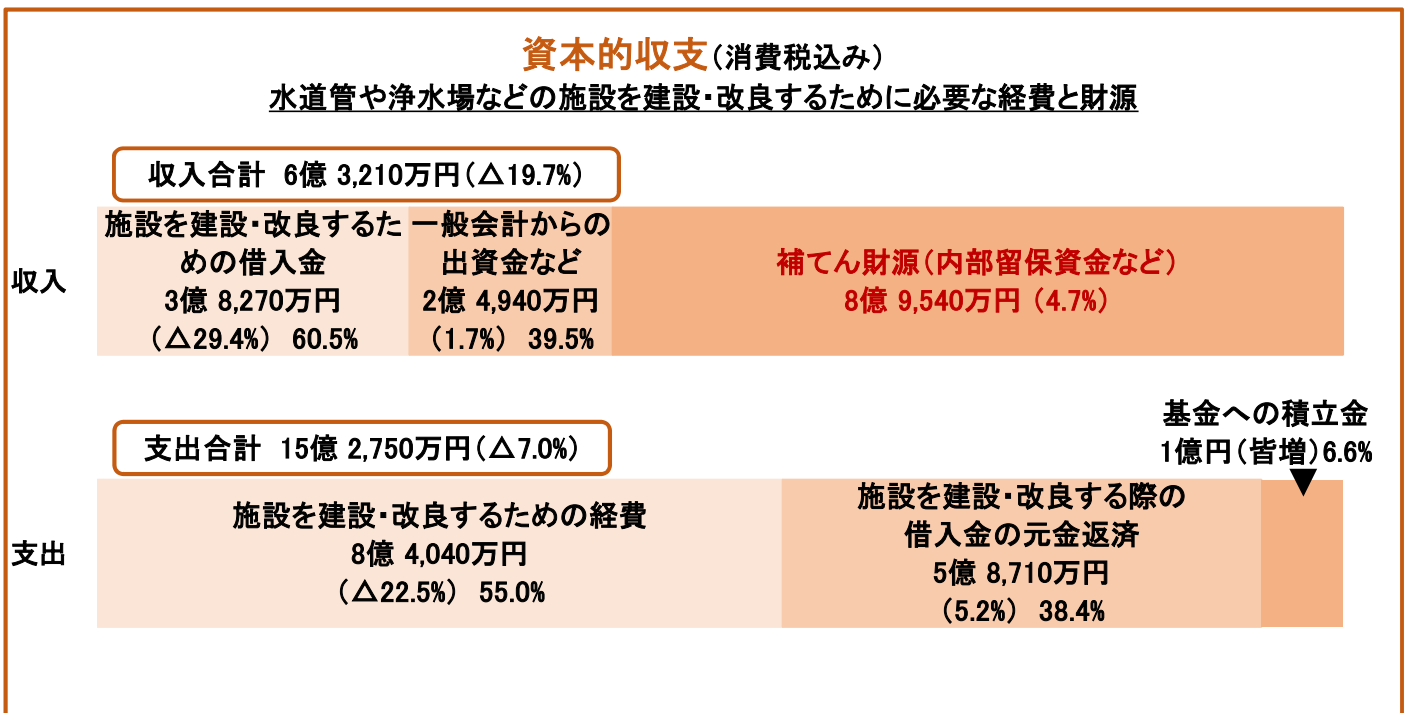
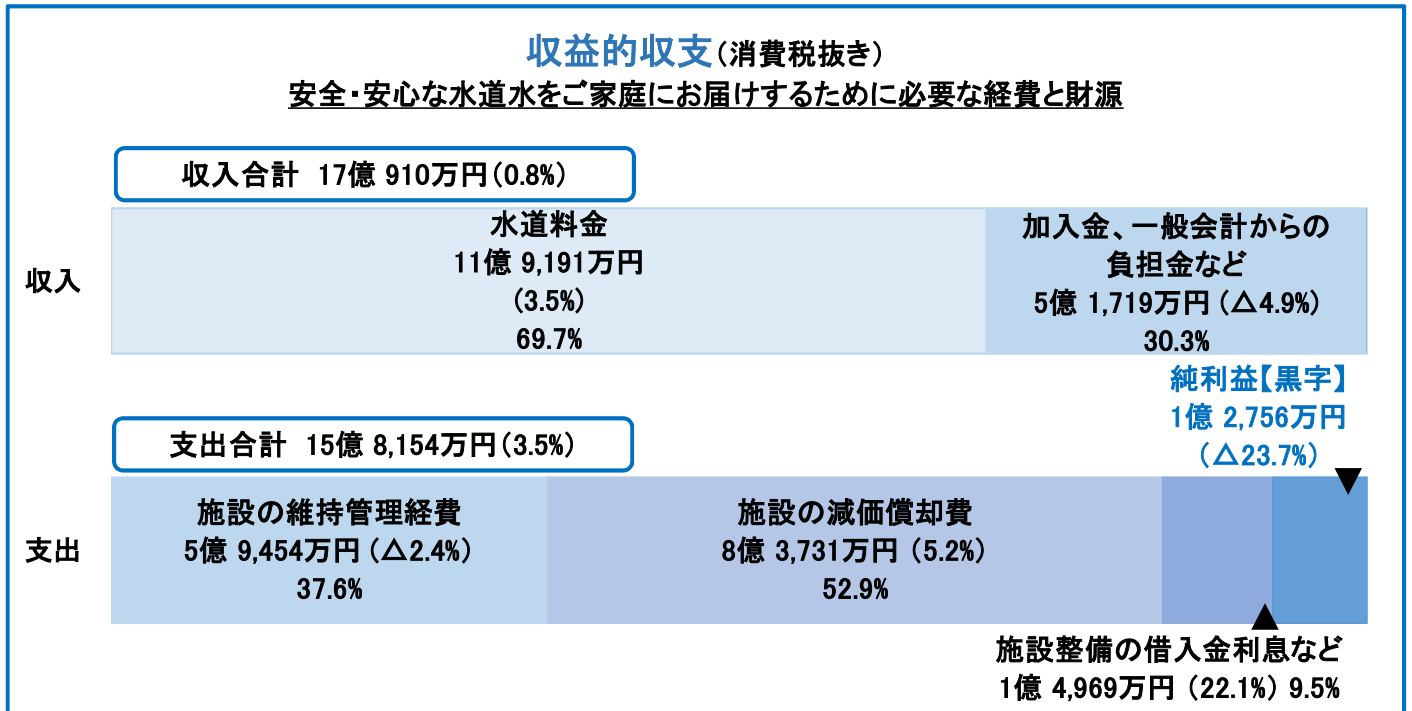
	ページ
1 上下水道事業の予算概要	・・・ 1
2 水道事業会計予算	・・・ 5
3 下水道事業会計予算	・・・ 11
4 企業債未償還残高の推移	・・・ 16
5 参考資料	・・・ 17

1 上下水道事業の予算概要

令和4年度

水道事業会計

※ () は対前年度比増減比率

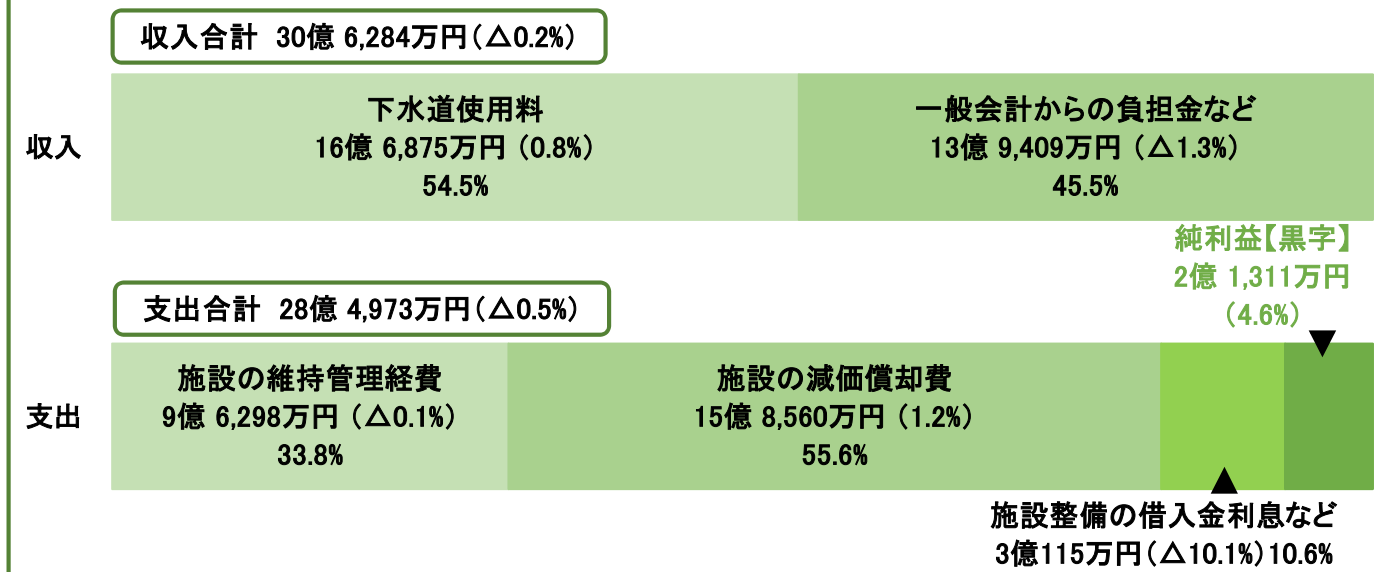


下水道事業会計

※ () は対前年度比増減比率

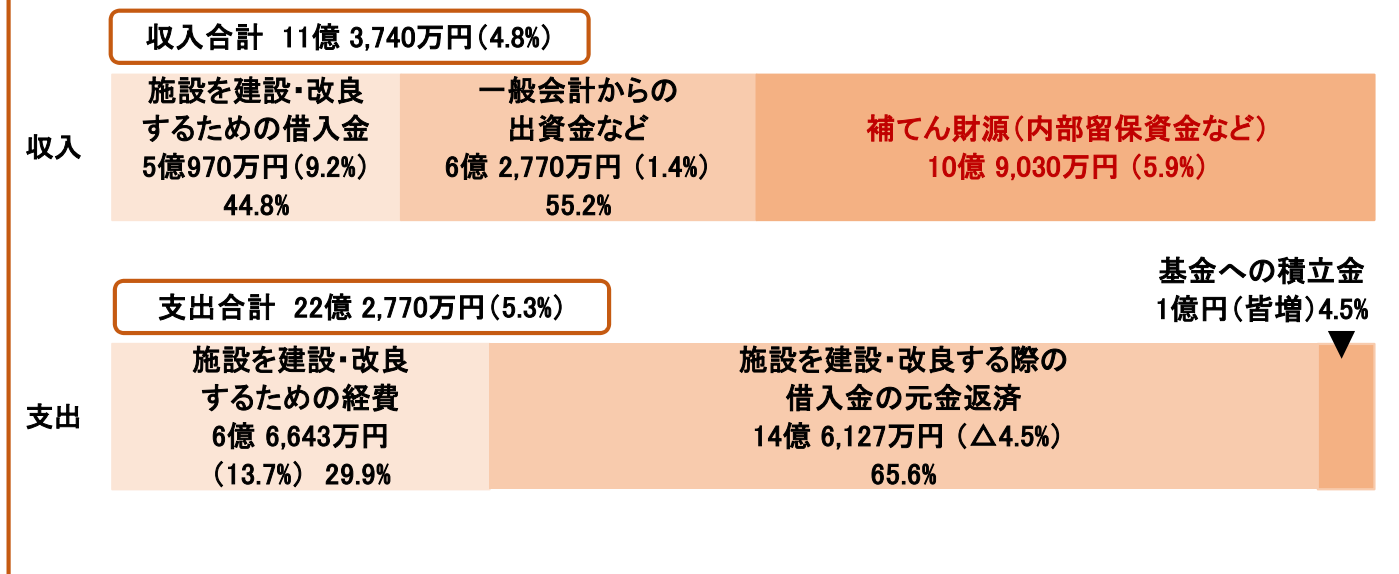
収益的収支(消費税抜き)

下水を適正に浄化・処理するために必要な経費と財源



資本的収支(消費税込み)

下水管や処理場などの施設を建設・改良するために必要な経費と財源



継続

おいしい水を安定的に供給する水道 (特別会計)

予算額 3,212,400千円

(前年度予算額 3,233,500千円)



市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、水道施設の長寿命化や規模の適正化を図るとともに、計画的かつ効率的な施設の整備及び維持管理を推進する。

- 送配水管の整備及び老朽管の耐震化率向上に向け、水道施設の計画的な更新を実施
 - ・ 王子送配水管整備工事
 - ・ 水道老朽管耐震化工事(2箇所)
- 水道用水供給事業による施設利用率の向上と収益の確保



上下水道部各課 TEL0771-25-6761

継続

水質保全と快適な暮らしを築く下水道 (特別会計)

予算額 5,214,100千円

(前年度予算額 5,124,400千円)



下水道の整備による生活排水の処理を通じて、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちを守り続けるため、下水道施設の適正な維持管理及び改築更新を推進する。

- 下水道ストックマネジメント計画に基づき、年谷浄化センターの改築更新事業等を実施
 - ・ 年谷浄化センター改築更新工事
(沈砂池設備、自家発電設備、ポンプ設備)
 - ・ 下水道ストックマネジメント計画策定(管渠・処理場)
 - ・ 下水道事業計画策定
- 年谷浄化センター消化ガス発電事業の円滑な運営による地産地消のエネルギー循環の推進



デザインマンホール



上下水道部各課 TEL0771-25-6761

2 水道事業会計予算

(1) 業務の予定量

項 目	令和4年度 予 算	令和3年度 予 算	前年度比較		令和2年度 決 算
			増 減	比 率	
年 間 給 水 量	9,153,693m ³	9,064,955m ³	88,738m ³	101.0%	9,204,973m ³
年 度 末 給 水 戸 数	32,236戸	32,144戸	92戸	100.3%	32,385戸

(2) 主要な建設改良事業

○王子送配水管整備工事 184,239千円

・事業内容 [工事] 送配水管 φ50~100mm L=1,640m
[委託] 設計業務

・財源内訳 企業債 151,000千円
自己資金 33,239千円

○水道老朽管耐震化工事 447,619千円

・事業内容 [工事] 千代川・大井町地内 φ600mm L=295m
西つつじヶ丘地内 φ50~100mm L=1,100m
舗装復旧

[委託] 設計業務

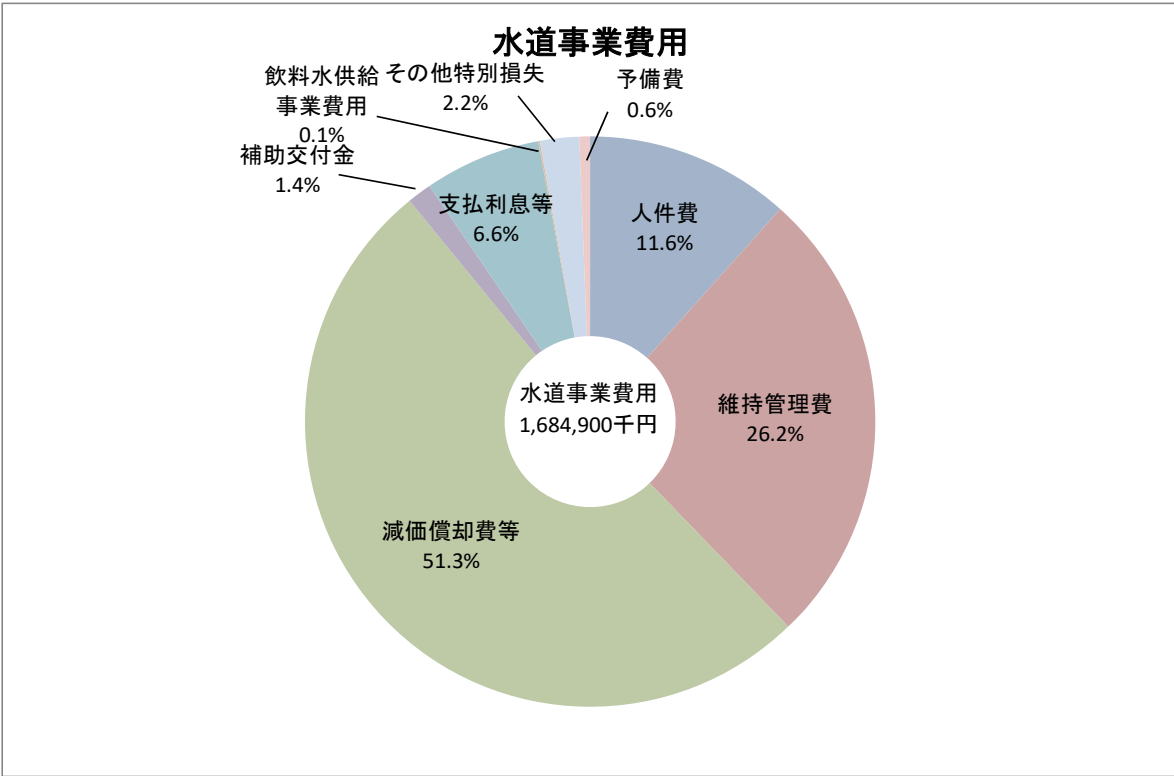
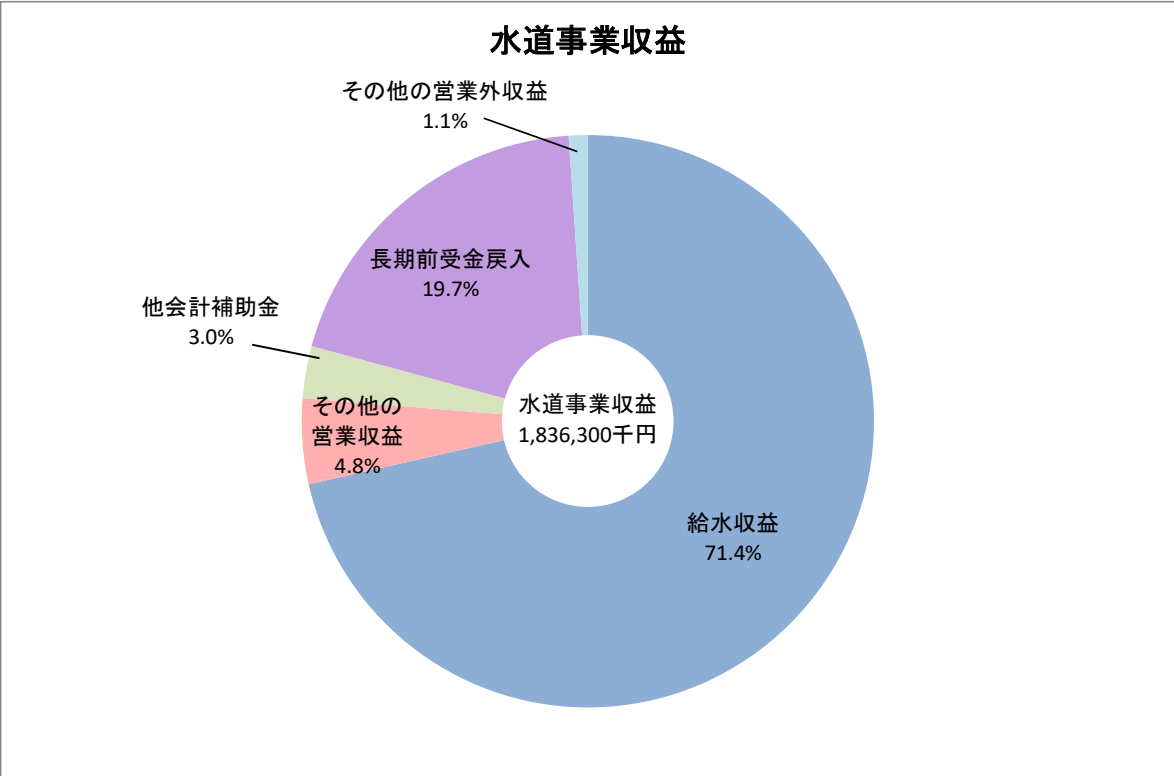
・財源内訳 企業債 231,700千円
一般会計出資金 75,600千円
自己資金 140,319千円

(3) 水道事業会計令和3年度当初予算額内訳

◎収益的収入及び支出【消費税込み】

項 目	令和4年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ④/②
水道事業収益(A)	1,836,300千円	1,821,900千円	14,400千円	100.8%
営業収益	1,399,696千円	1,400,989千円	△ 1,293千円	99.9%
給水収益	1,311,105千円	1,266,421千円	44,684千円	103.5%
その他の営業収益	88,591千円	134,568千円	△ 45,977千円	65.8%
営業外収益	435,346千円	419,525千円	15,821千円	103.8%
他会計補助金	54,021千円	62,902千円	△ 8,881千円	85.9%
長期前受金戻入	361,794千円	342,113千円	19,681千円	105.8%
その他の営業外収益	19,531千円	14,510千円	5,021千円	134.6%
附帯事業収益	1,258千円	1,386千円	△ 128千円	90.8%
飲料水供給事業収益	1,258千円	1,386千円	△ 128千円	90.8%
水道事業費用(B)	1,684,900千円	1,590,600千円	94,300千円	105.9%
営業費用	1,475,966千円	1,434,295千円	41,671千円	102.9%
人件費	189,367千円	162,584千円	26,783千円	116.5%
維持管理費	426,777千円	445,930千円	△ 19,153千円	95.7%
薬品費	2,240千円	2,237千円	3千円	100.1%
動力費	114,609千円	110,193千円	4,416千円	104.0%
修繕費	80,721千円	83,770千円	△ 3,049千円	96.4%
委託料	176,573千円	191,669千円	△ 15,096千円	92.1%
その他の維持管理費	52,634千円	58,061千円	△ 5,427千円	90.7%
減価償却費等	837,306千円	795,869千円	41,437千円	105.2%
補助交付金	22,516千円	29,912千円	△ 7,396千円	75.3%
営業外費用	161,411千円	144,805千円	16,606千円	111.5%
支払利息等	107,888千円	117,317千円	△ 9,429千円	92.0%
その他の営業外費用	53,523千円	27,488千円	26,035千円	194.7%
附帯事業費用	1,361千円	1,500千円	△ 139千円	90.7%
飲料水供給事業費用	1,361千円	1,500千円	△ 139千円	90.7%
特別損失	36,162千円		36,162千円	皆増
その他特別損失	36,162千円		36,162千円	皆増
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
収益的収支差引額(C)((A)-(B))	151,400千円	231,300千円	△ 79,900千円	65.5%

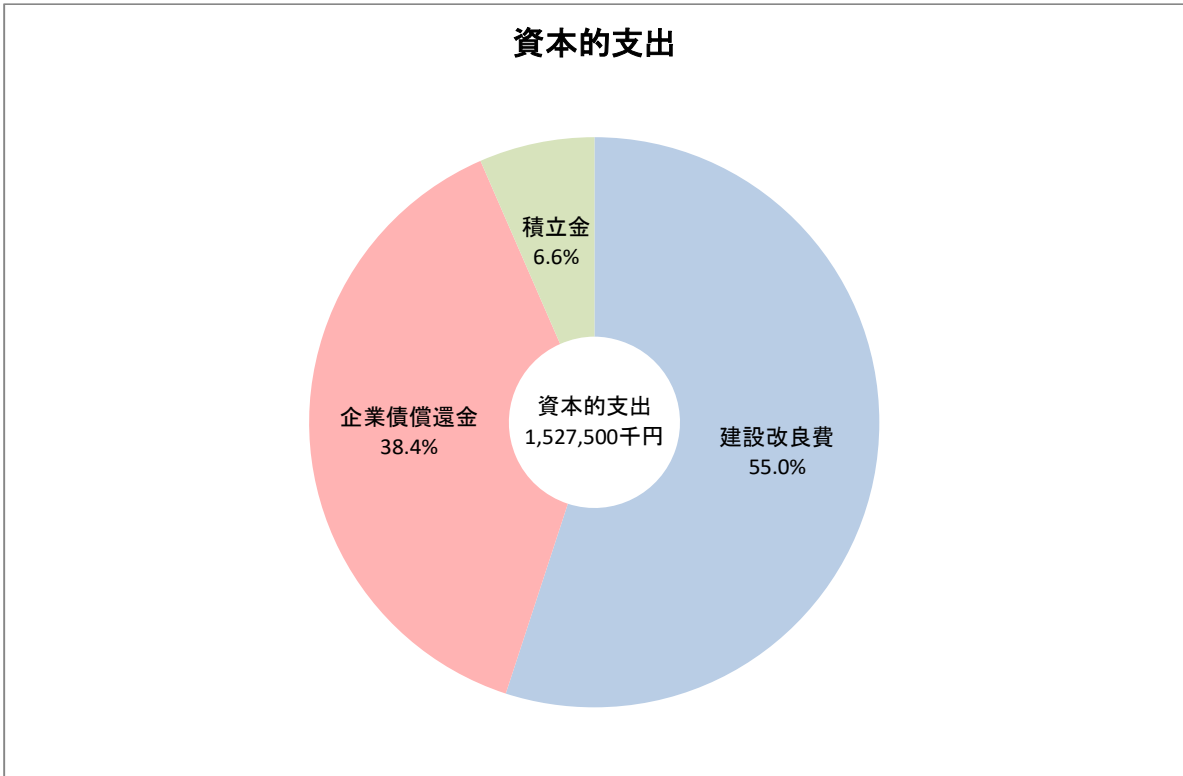
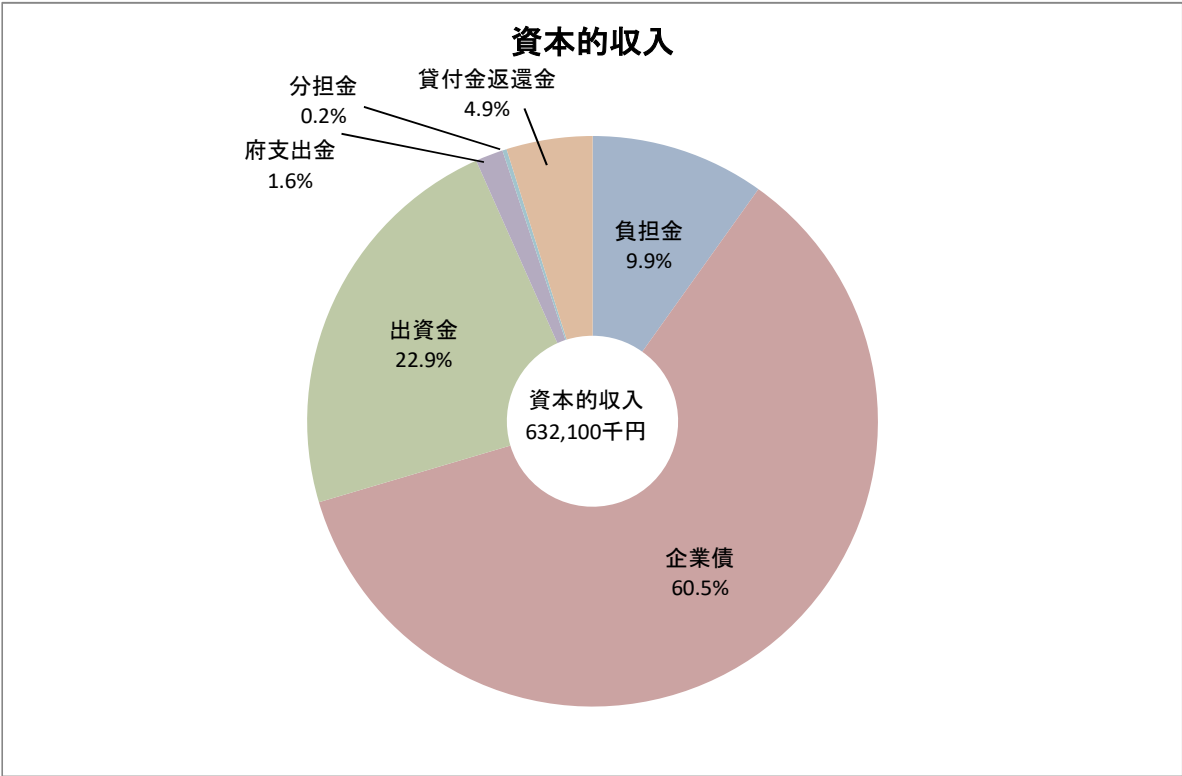
令和4年度収益的収支当初予算額の構成



◎資本的收入及び支出【消費税込み】

項 目	令和4年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ①/②
資本的收入(D)	632,100千円	787,500千円	△ 155,400千円	80.3%
負担金	62,452千円	49,935千円	12,517千円	125.1%
企業債	382,700千円	542,300千円	△ 159,600千円	70.6%
出資金	144,617千円	153,843千円	△ 9,226千円	94.0%
府支出金	9,967千円	9,792千円	175千円	101.8%
分担金	1,550千円	1,000千円	550千円	155.0%
貸付金返還金	30,814千円	30,630千円	184千円	100.6%
資本の支出(E)	1,527,500千円	1,642,900千円	△ 115,400千円	93.0%
建設改良費	840,398千円	1,084,718千円	△ 244,320千円	77.5%
企業債償還金	587,102千円	558,182千円	28,920千円	105.2%
積立金	100,000千円		100,000千円	皆増
資本的収支差引額(F)((D)-(E))	△ 895,400千円	△ 855,400千円	△ 40,000千円	104.7%
損益勘定留保資金等充当額(G)	895,400千円	855,400千円	40,000千円	104.7%
補てん財源充当後差引額 ((F)+(G))	0千円	0千円	0千円	—

令和4年度資本的収支当初予算額の構成



3 下水道事業会計予算

(1) 業務の予定量

項 目	令和4年度 予 算	令和3年度 予 算	前年度比較		令和2年度 決 算
			増 減	比 率	
年 間 排 水 量	8,649,013m ³	8,609,796m ³	39,217m ³	100.5%	8,713,523m ³
年度末処理可能戸数	37,507戸	36,990戸	517戸	101.4%	36,697戸
年度末水洗化戸数	36,538戸	35,843戸	695戸	101.9%	35,164戸
水 洗 化 率	97.4%	96.9%	0.5%	100.5%	95.9%

(2) 主要な建設改良事業

○処理場建設改良事業

564,000千円

- ・ 事業内容 年谷浄化センター改築更新工事
(沈砂池設備、自家発電設備、ポンプ設備)
下水道ストックマネジメント計画策定(処理場)
- ・ 財源内訳 国庫支出金(5.5/10、1/2) 277,000千円
企業債 251,100千円
自己資金 35,900千円

○管渠布設事業

57,100千円

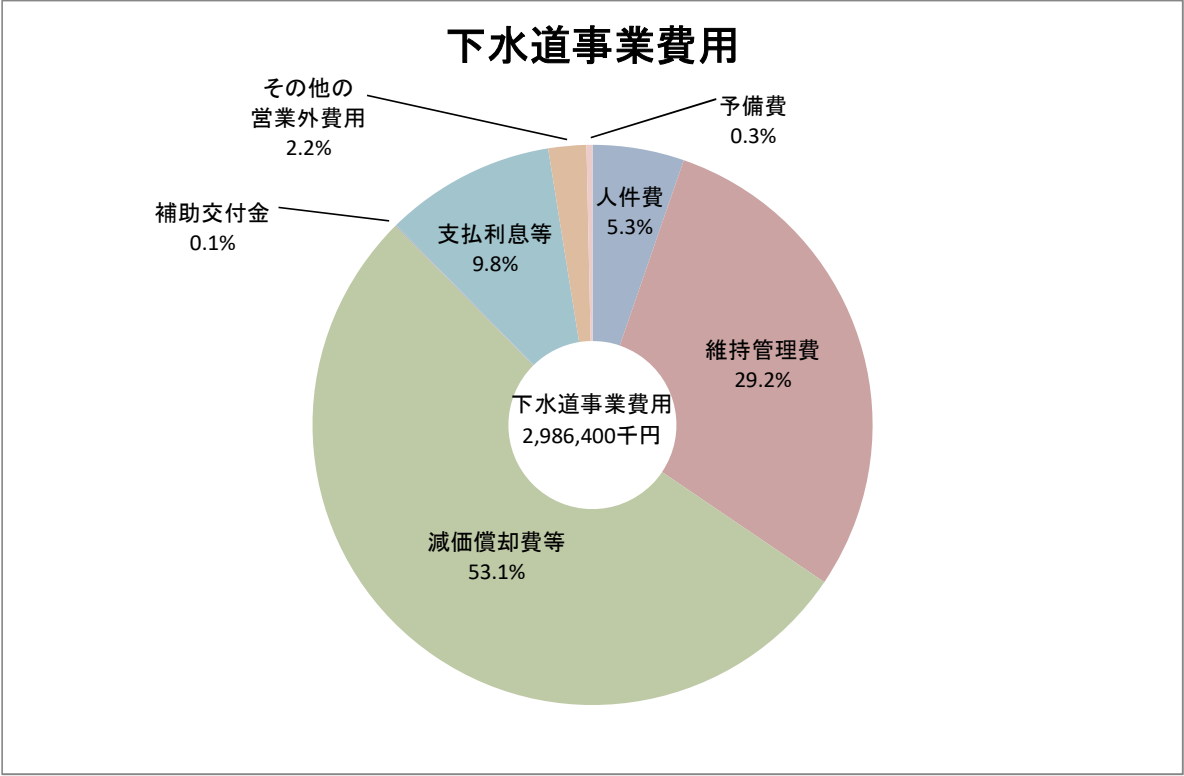
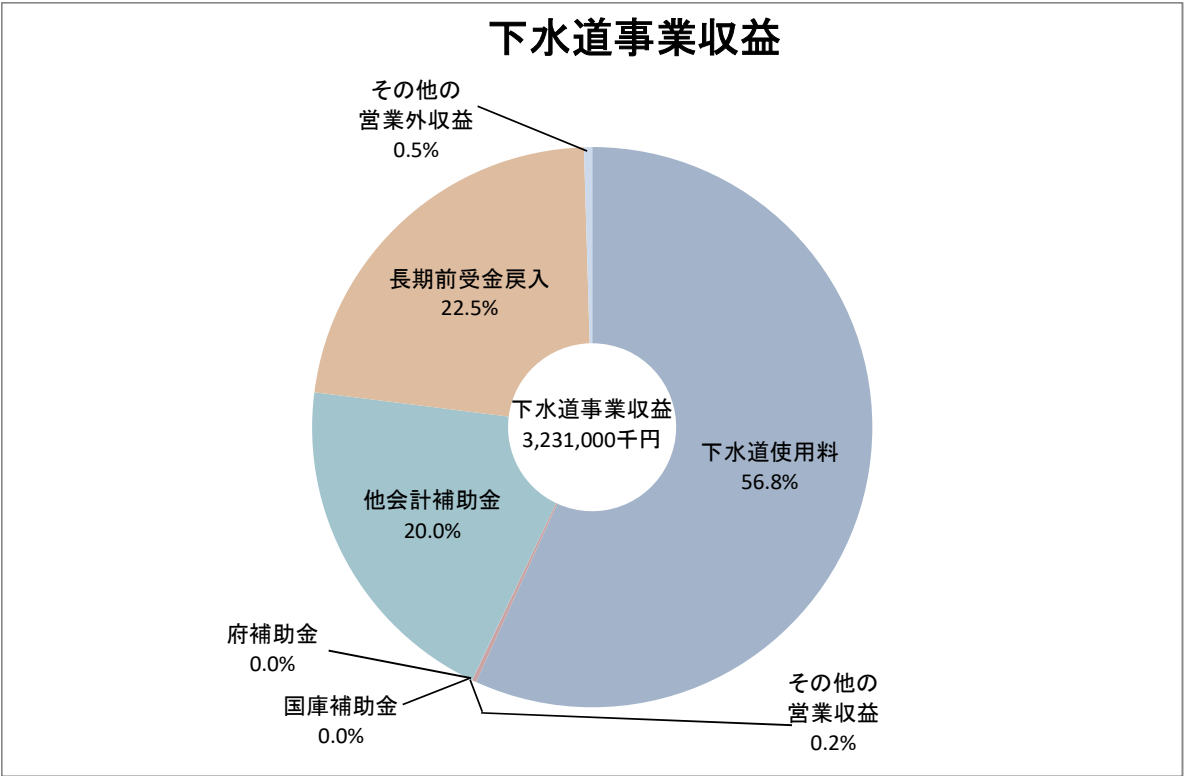
- ・ 事業内容 下水道ストックマネジメント計画策定(管渠)
下水道事業計画策定
- ・ 財源内訳 国庫支出金(1/2) 18,050千円
自己資金 39,050千円

(3) 下水道事業会計令和4年度当初予算額内訳

◎収益的収入及び支出【消費税込み】

項 目	令和4年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ④/②
下水道事業収益(A)	3,231,000千円	3,236,100千円	△ 5,100千円	99.8%
営業収益	1,842,852千円	1,830,658千円	12,194千円	100.7%
下水道使用料	1,835,627千円	1,821,696千円	13,931千円	100.8%
その他の営業収益	7,225千円	8,962千円	△ 1,737千円	80.6%
営業外収益	1,388,148千円	1,405,442千円	△ 17,294千円	98.8%
国庫補助金	350千円	350千円	0千円	100.0%
府補助金	500千円	500千円	0千円	100.0%
他会計補助金	644,089千円	678,429千円	△ 34,340千円	94.9%
長期前受金戻入	727,869千円	710,386千円	17,483千円	102.5%
その他の営業外収益	15,340千円	15,777千円	△ 437千円	97.2%
下水道事業費用(B)	2,986,400千円	3,008,900千円	△ 22,500千円	99.3%
営業費用	2,617,032千円	2,596,201千円	20,831千円	100.8%
人件費	157,895千円	189,270千円	△ 31,375千円	83.4%
維持管理費	872,041千円	838,918千円	33,123千円	103.9%
薬品費	10,493千円	10,493千円	0千円	100.0%
動力費	132,771千円	126,961千円	5,810千円	104.6%
修繕費	123,635千円	127,987千円	△ 4,352千円	96.6%
委託料	537,149千円	521,631千円	15,518千円	103.0%
その他の維持管理費	67,993千円	51,846千円	16,147千円	131.1%
減価償却費等	1,585,596千円	1,566,513千円	19,083千円	101.2%
補助交付金	1,500千円	1,500千円	0千円	100.0%
営業外費用	359,368千円	402,699千円	△ 43,331千円	89.2%
支払利息等	293,386千円	327,370千円	△ 33,984千円	89.6%
その他の営業外費用	65,982千円	75,329千円	△ 9,347千円	87.6%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
収益的収支差引額(C)((A)-(B))	244,600千円	227,200千円	17,400千円	107.7%

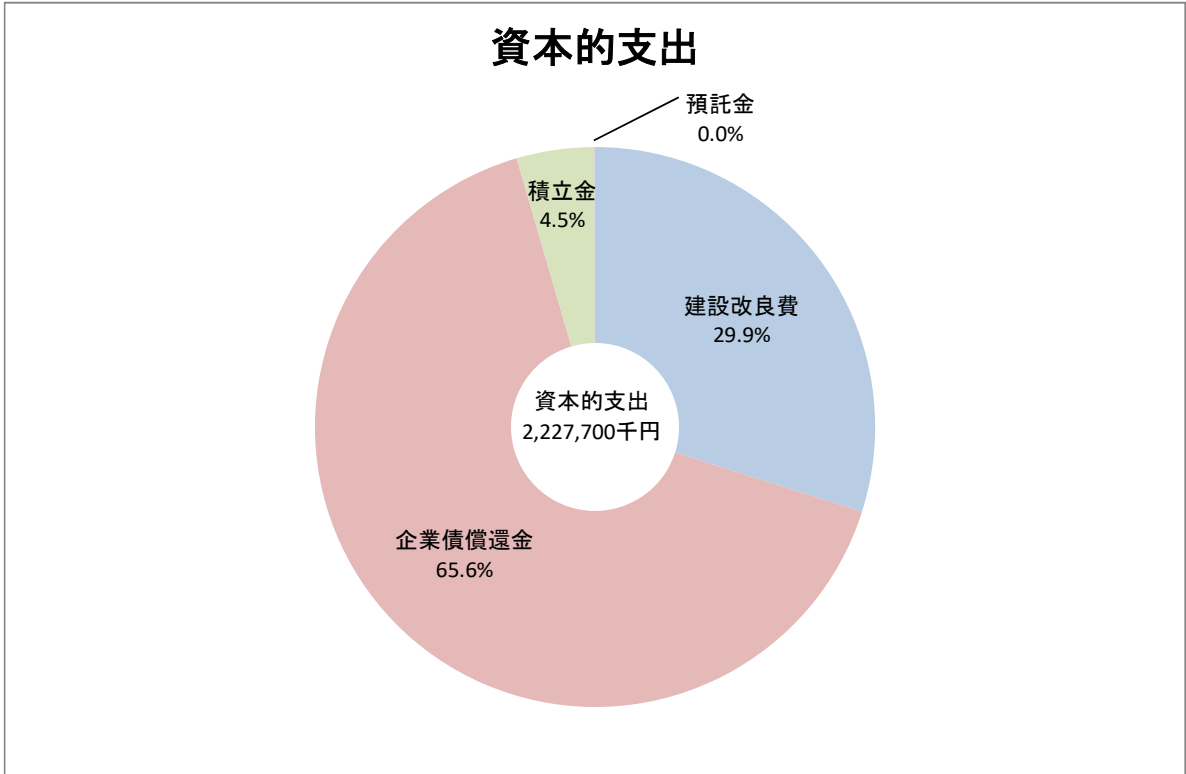
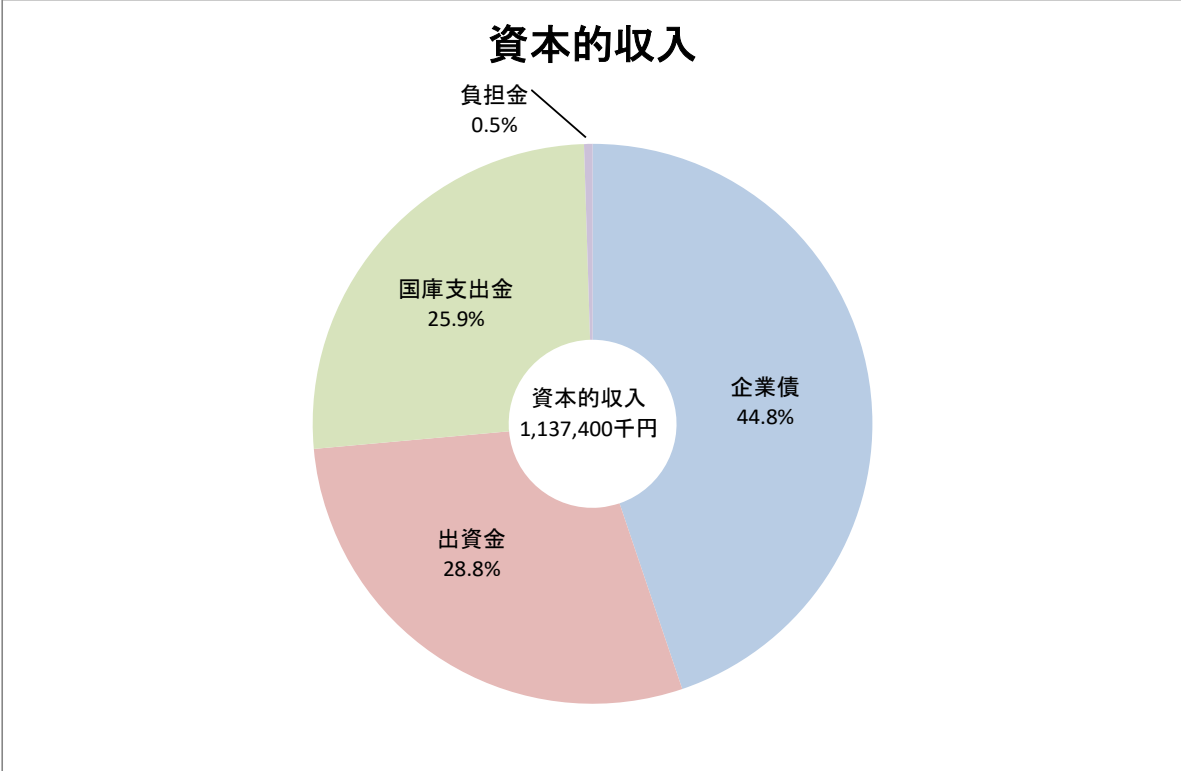
令和4年度収益的収支当初予算額の構成



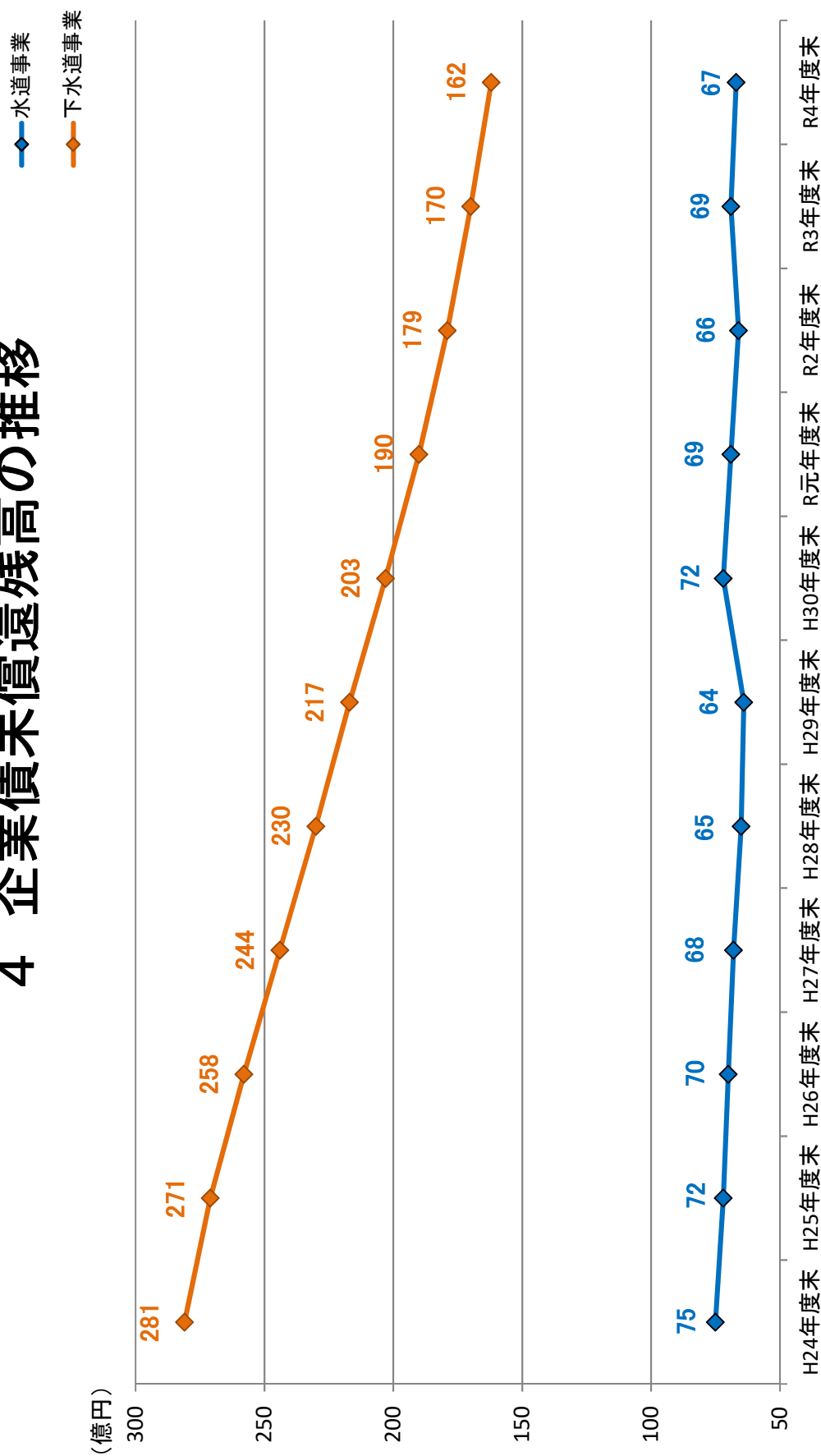
◎資本的收入及び支出【消費税込み】

項 目	令和4年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ①/②
資本的收入(D)	1,137,400千円	1,085,700千円	51,700千円	104.8%
企業債	509,700千円	466,600千円	43,100千円	109.2%
出資金	327,113千円	314,527千円	12,586千円	104.0%
国庫支出金	295,050千円	262,680千円	32,370千円	112.3%
負担金	5,537千円	41,893千円	△ 36,356千円	13.2%
資本の支出(E)	2,227,700千円	2,115,500千円	112,200千円	105.3%
建設改良費	665,778千円	585,432千円	80,346千円	113.7%
企業債償還金	1,461,272千円	1,529,418千円	△ 68,146千円	95.5%
積立金	100,000千円	0千円	100,000千円	皆増
預託金	650千円	650千円	0千円	100.0%
資本的収支差引額(F)((D)-(E))	△ 1,090,300千円	△ 1,029,800千円	△ 60,500千円	105.9%
損益勘定留保資金等充当額(G)	1,090,300千円	1,029,800千円	60,500千円	105.9%
補てん財源充当後差引額 ((F)+(G))	0千円	0千円	0千円	—

令和4年度資本的収支当初予算額の構成



4 企業債未償還残高の推移



※水道事業については、H29年度末までは簡易水道事業分を含まない上水道事業分のみです。
 ※下水道事業については、地域下水道事業分を含みます。

5 参考資料

- 令和4年度亀岡市水道事業予定損益計算書
- 令和4年度亀岡市水道事業予定貸借対照表
- 令和4年度亀岡市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
- 令和4年度亀岡市下水道事業予定損益計算書
- 令和4年度亀岡市下水道事業予定貸借対照表
- 令和4年度亀岡市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和4年度亀岡市水道事業予定損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1	営業収益		
	(1) 給水収益	1,191,914	
	(2) その他営業収益	81,479	1,273,393
2	営業費用		
	(1) 原水及び浄水費	195,083	
	(2) 配水及び給水費	197,643	
	(3) 業務費	73,075	
	(4) 総係費	118,745	
	(5) 減価償却費	830,833	
	(6) 資産減耗費	6,473	
	(7) その他営業費用	10,000	1,431,852
	営業損失		158,459
3	営業外収益		
	(1) 受取利息及び配当金	426	
	(2) 他会計補助金	54,021	
	(3) 長期前受金戻入	361,794	
	(4) 雑収益	18,228	434,469
4	営業外費用		
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	107,869	
	(2) 雑支出	4,416	322,184
	経常利益		163,725
5	附帯事業収益		
	(1) 飲料水供給事業収益	1,238	1,238
6	附帯事業費用		
	(1) 飲料水供給事業費用	1,238	1,238
7	特別損失		
	(1) 固定資産譲渡損	36,162	△ 36,162
	当年度純利益		127,563
	前年度繰越利益剰余金		144,748
	当年度未処分利益剰余金		272,311

令和4年度亀岡市水道事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		1,337,260	
ロ 建 物	1,417,097		
減価償却累計額	<u>△ 704,886</u>	712,211	
ハ 構 築 物	34,684,966		
減価償却累計額	<u>△ 15,308,120</u>	19,376,846	
ニ 機 械 及 び 装 置	4,402,959		
減価償却累計額	<u>△ 2,796,615</u>	1,606,344	
ホ 車 両 運 搬 具	30,088		
減価償却累計額	<u>△ 24,624</u>	5,464	
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	207,654		
減価償却累計額	<u>△ 181,632</u>	26,022	
ト リ ー ス 資 産	8,081		
減価償却累計額	<u>△ 4,364</u>	3,717	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>396,670</u>	
有形固定資産合計			23,464,534
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		50	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア		<u>7,208</u>	
無形固定資産合計			7,258
(3) 投 資 そ の 他 資 産			
イ 出 資 金		1,500	
ロ 基 金		<u>100,000</u>	
投資その他資産合計			<u>101,500</u>
固定資産合計			23,573,292
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
(2) 未 収 金		2,596,683	
貸 倒 引 当 金	138,258		
貸倒引当金	<u>△ 7,879</u>	130,379	
(3) 貯 蔵 品			
流動資産合計		<u>5,388</u>	
資産合計			<u>2,732,450</u>
			<u>26,305,742</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債		
(1)	企 業 債		
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>6,095,788</u>	
	企 業 債 合 計		6,095,788
(2)	リ ー ス 債 務		1,496
(3)	引 当 金		183,404
(4)	そ の 他 固 定 負 債		<u>206,631</u>
	固 定 負 債 合 計		6,487,319
4	流 動 負 債		
(1)	一 時 借 入 金		0
(2)	企 業 債		
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>592,648</u>	
	企 業 債 合 計		592,648
(3)	リ ー ス 債 務		1,789
(4)	未 払 金		282,748
(5)	引 当 金		17,259
(6)	預 り 保 証 金		900
(7)	預 り 金		<u>7,473</u>
	流 動 負 債 合 計		902,817
5	繰 延 収 益		
(1)	長 期 前 受 金		15,548,436
	収 益 化 累 計 額		<u>△ 6,652,755</u>
	繰 延 収 益 合 計		<u>8,895,681</u>
	負 債 合 計		<u>16,285,817</u>

資 本 の 部

6	資 本 金		
(1)	資 本 金		
	資 本 金 合 計	<u>9,139,738</u>	
7	剰 余 金		
(1)	資 本 剰 余 金		607,876
(2)	利 益 剰 余 金		
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>272,311</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>272,311</u>
	剰 余 金 合 計		880,187
	資 本 合 計		<u>10,019,925</u>
	負 債 資 本 合 計		<u><u>26,305,742</u></u>

令和4年度亀岡市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー		
	当年度純利益		127,563
	減価償却費		830,833
	固定資産除却費		148
	固定資産減少に伴う損失		36,162
	引当金の増減額 (△は減少)		△ 10,253
	長期前受金戻入額		△ 361,794
	受取利息及び配当金		△ 426
	支払利息		107,888
	未収金の増減額 (△は増加)		1,987
	未払金の増減額 (△は減少)		28,967
	預り金の増減額 (△は減少)		△ 200
	小計		760,875
	利息及び配当金の受取額		426
	利息の支払額		△ 107,888
	業務活動によるキャッシュ・フロー		653,413
2	投資活動によるキャッシュ・フロー		
	有形固定資産の取得による支出		△ 1,301,933
	負担金等による収入		58,614
	長期貸付金回収による収入		30,814
	基金の積立てによる支出		△ 100,000
	リース債務支払額		△ 1,781
	投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,314,286
3	財務活動によるキャッシュ・フロー		
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入		382,700
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出		△ 587,102
	他会計からの出資による収入		144,617
	財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 59,785
	資金増加額 (又は減少額)		△ 720,658
	資金期首残高		3,317,341
	資金期末残高		2,596,683

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数

建物	15～50年
構築物	40～60年
機械及び装置	15～20年
車両運搬具	4～6年
工具、器具及び備品	5～15年

(2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数

ソフトウェア	5年
--------	----

(3) リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権・貸倒懸念債権等それぞれの貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は713,087千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和4年度において、退職手当として17,924千円を支給するため、退職給付引当金17,924千円を取り崩す。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当として43,321千円を支給するため、賞与引当金14,229千円を取り崩す。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として8,448千円を支出するため、法定福利費引当金2,751千円を取り崩す。

(4) 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、債権1,876千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金1,876千円を取り崩す。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは、下記の金額である。

1年内	1,789千円
1年超	1,496千円
計	3,285千円

IV. その他の注記

1 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の方法により取り崩すこととする。

令和4年度亀岡市下水道事業予定損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1	営業収益		
	(1) 下水道使用料	1,668,752	
	(2) その他営業収益	7,220	1,675,972
2	営業費用		
	(1) 管渠費	115,013	
	(2) ポンプ場費	42,942	
	(3) 処理場費	616,040	
	(4) 業務費	75,312	
	(5) 総係費	103,669	
	(6) 減価償却費	1,585,596	
	(7) その他営業費用	10,000	2,548,572
	営業損失		872,600
3	営業外収益		
	(1) 受取利息及び配当金	58	
	(2) 国庫補助金	350	
	(3) 府補助金	500	
	(4) 他会計補助金	644,089	
	(5) 長期前受金戻入	727,869	
	(6) 雑収益	14,002	1,386,868
4	営業外費用		
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	293,386	
	(2) 雑支出	7,768	301,154
	経常利益		213,114
	当年度純利益		213,114
	前年度繰越利益剰余金		252,558
	その他未処分利益 剰余金変動額		292,358
	当年度未処分利益剰余金		758,030

令和4年度亀岡市下水道事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		1,994,843	
ロ 建 物	2,049,153		
減価償却累計額	<u>△ 1,085,360</u>	963,793	
ハ 構 築 物	60,312,371		
減価償却累計額	<u>△ 24,123,524</u>	36,188,847	
ニ 機 械 及 び 装 置	12,076,476		
減価償却累計額	<u>△ 7,880,923</u>	4,195,553	
ホ 車 両 運 搬 具	3,925		
減価償却累計額	<u>△ 3,389</u>	536	
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	64,782		
減価償却累計額	<u>△ 58,954</u>	5,828	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>476,658</u>	
有形固定資産合計			43,826,058
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		<u>1,335</u>	
無形固定資産合計			1,335
(3) 投 資 そ の 他 資 産			
イ 出 資 金		3,000	
ロ 基 金		100,000	
ハ 預 託 金		<u>4,800</u>	
投資その他資産合計			<u>107,800</u>
固定資産合計			43,935,193
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
(2) 未 収 金		241,423	
貸 倒 引 当 金	<u>△ 15,393</u>	<u>226,030</u>	
流動資産合計			<u>1,440,045</u>
資 産 合 計			<u><u>45,375,238</u></u>

負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,186,986		
	ロ その他企業債	<u>615,048</u>		
	企業債合計		14,802,034	
(2)	他会計借入金		22,800	
(3)	引当金		<u>161,846</u>	
	固定負債合計			14,986,680
4	流動負債			
(1)	一時借入金		0	
(2)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,340,271		
	ロ その他企業債	<u>34,052</u>		
	企業債合計		1,374,323	
(3)	未払金		217,400	
(4)	引当金		12,529	
(5)	預り保証金		<u>100</u>	
	流動負債合計			1,604,352
5	繰延収益			
(1)	長期前受金		33,485,287	
	収益化累計額		<u>△ 15,474,882</u>	
	繰延収益合計			<u>18,010,405</u>
	負債合計			34,601,437

資本の部

6	資本金			
(1)	資本金		<u>6,924,609</u>	
	資本金合計			6,924,609
7	剰余金			
(1)	資本剰余金		3,091,162	
(2)	利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>758,030</u>		
	利益剰余金合計		<u>758,030</u>	
	剰余金合計			<u>3,849,192</u>
	資本合計			<u>10,773,801</u>
	負債資本合計			<u><u>45,375,238</u></u>

令和4年度亀岡市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	213,114
減価償却費	1,585,596
引当金の増減額 (△は減少)	△ 2,801
長期前受金戻入額	△ 727,869
受取利息及び配当金	△ 58
支払利息	293,386
未収金の増減額 (△は増加)	△ 7,375
未払金の増減額 (△は減少)	△ 36,899
小計	1,317,094
利息及び配当金の受取額	58
利息の支払額	△ 293,386
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,023,766
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 596,615
補助金による収入	268,227
負担金等による収入	5,506
基金の積立てによる支出	△ 100,000
預託金による支出	△ 650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 423,532
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	509,700
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,427,405
その他企業債による収入	117,700
その他企業債の償還による支出	△ 33,867
他会計からの出資による収入	327,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 506,759
資金増加額 (又は減少額)	93,475
資金期首残高	1,120,540
資金期末残高	1,214,015

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。	
・主な耐用年数	建物	15～50年
	構築物	50年
	機械及び装置	15～20年
	車両運搬具	4～6年
	工具、器具及び備品	5～15年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権・貸倒懸念債権等それぞれの貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は11,208,031千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和4年度において、退職手当として19,313千円を支給するため、退職給付引当金19,313千円を取り崩す。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当として31,477千円を支給するため、賞与引当金10,187千円を取り崩す。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として6,109千円を支出するため、法定福利費引当金1,907千円を取り崩す。

(4) 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、債権4,376千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金4,376千円を取り崩す。